

経営比較分析表（令和4年度決算）

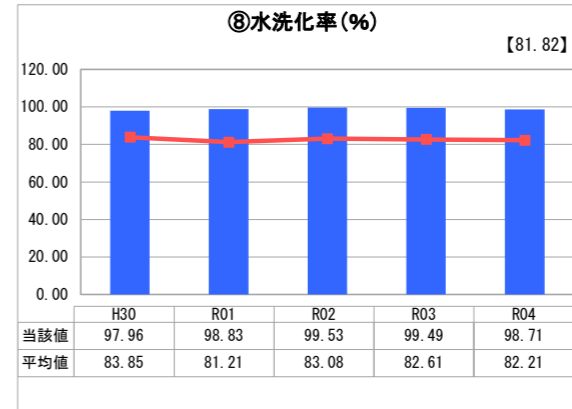
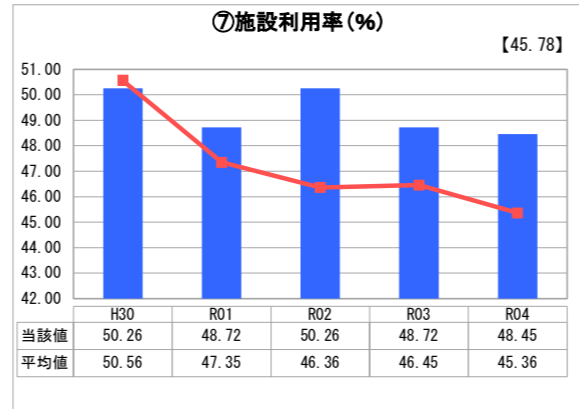
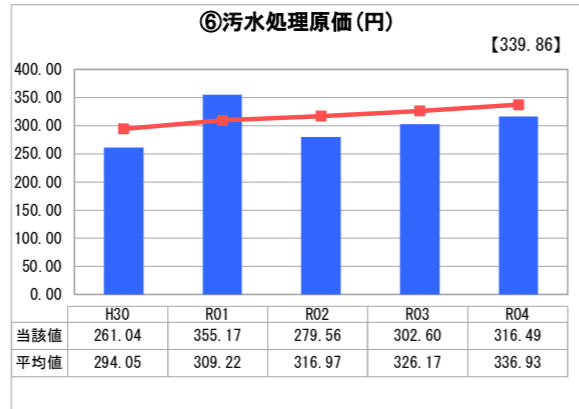
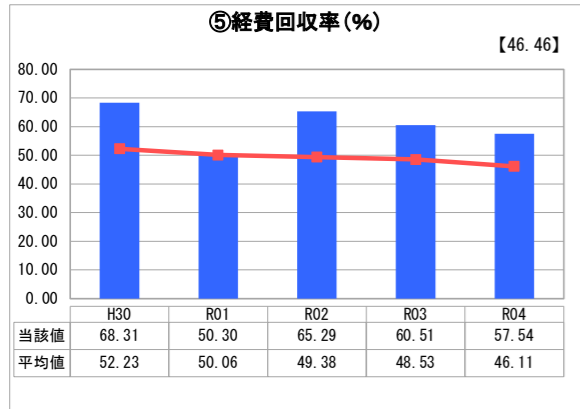
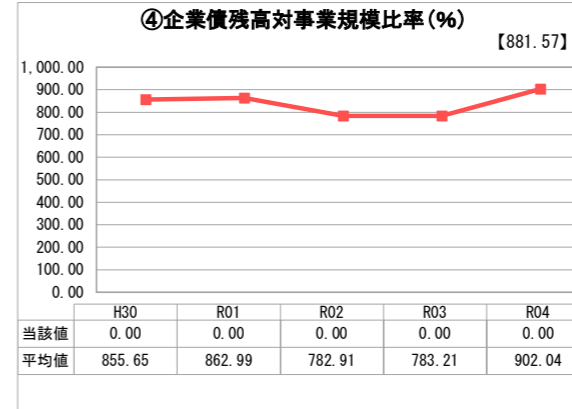
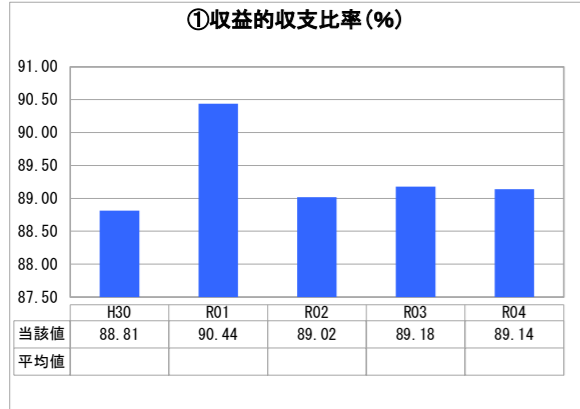
島根県 出雲市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.22	100.00	3,352

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
173,835	624.32	278.44
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
388	0.08	4,850.00

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本事業は、特定地域排水処理事業とあわせ、浄化槽設置事業会計として実施している。経営状況は、公共下水道との負担の公平性の観点から、使用料体系が同一となっており、使用料収入等の自主財源で維持管理経費を賄うことができず、市債償還額の不足分とあわせ、一般会計繰入金に頼らざるを得ない状況である。

①収益的収支比率 総収益、総費用、地方債償還金いずれも増加したが、総費用に地方債償還金を加えた費用の増加が、総収益の増加を上回ったため、前年度より低くなった。

④企業債残高対事業規模比率 地方債現在高を一般会計繰入金で全額負担していることから、比率は0%となった。

⑤経費回収率 下水道使用料は減少し、汚水処理費は増加したため、前年度より低くなったが、類似団体を上回っている。

⑥汚水処理原価 汚水処理費が増加し、年間有収水量が減少したため、前年度より高くなったが、類似団体を下回っている。

⑦施設利用率 晴天時現在処理能力の減少率より晴天時一日平均処理量の減少率が高かったため、前年度より低くなった。

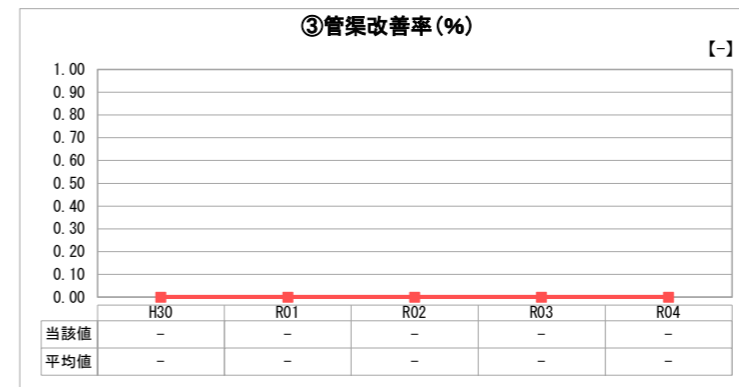
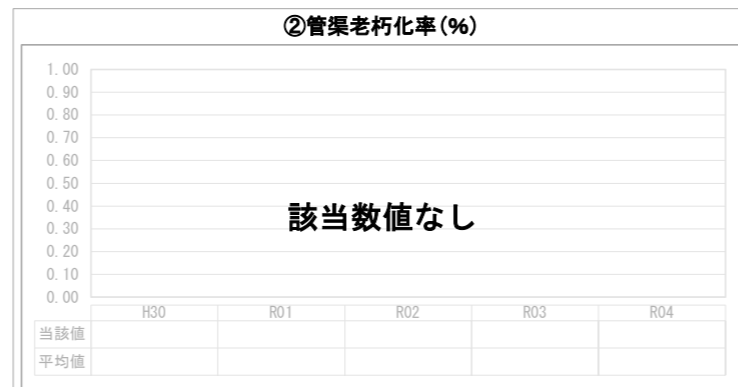
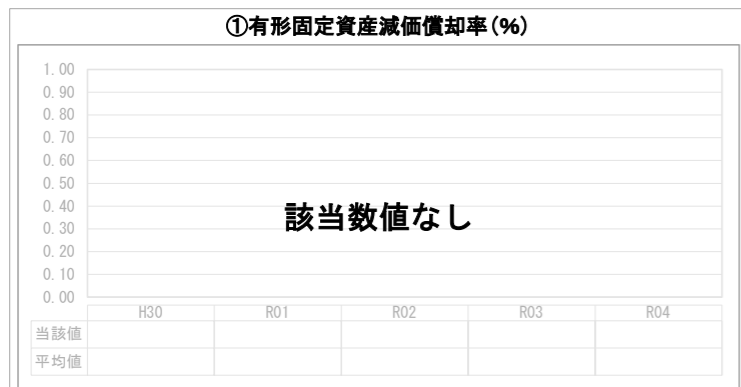
⑧水洗化率 処理区域内人口の減少に比べ、水洗便所設置済人口の減少が多かったため、前年度より低くなったが、類似団体を上回っている。

2. 老朽化の状況について

本事業は、平成11年度から実施した事業であり、法定耐用年数を経過する施設はなく、主にプロアポンプ等の機器類について、老朽化の状況に応じた修繕を行っている。

今後も適正な維持管理に努めるとともに、老朽化の進行や更新期の到来に備え、長寿命化、更新の方法について、検討を行う必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

本事業は、新規の浄化槽設置を終了していることから、今後は、施設の適正な管理運営を実施していく必要がある。

令和4年度は、下水道使用料は減少し、汚水処理費は増加したため、経費回収率が前年度より低くなった。他方で、汚水処理原価は前年度より高くなった。

今後とも、施設の適正な維持管理に努める一方で、引き続き経費の削減に努め、経営の改善を図っていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。